

結婚意欲と学生時代の経験の関係 「結婚意欲がない人」は学生時代に将来のライフイベントについて 考える機会がない割合が高い

「恋愛・結婚調査2017」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する調査・研究組織のブライダル総研より、「恋愛・結婚調査2017」に関する分析をお伝えします。

「結婚意欲がない」割合は約2割。男性の方が意欲が低い

将来の結婚意欲について、20～30代未婚者に「結婚意欲」と「学生時代の経験」について聴取したところ、結婚意欲と学生時代の経験は関係が深いことが分かりました。

【将来の結婚意欲（20～30代未婚者／単一回答）】

- ・（今後も）結婚したくない：18.2%（男性 20.3%/女性 15.6%）
- ・どちらともいえない：22.6%（28.3%/15.8%）
- ・（いずれは）結婚したい：59.2%（51.4%/68.6%）

将来の結婚意欲をみると、「結婚したくない」人は2割程度であり、多くは結婚意向があることが分かりました。男女で比較すると、男性の方が「結婚したくない」割合が高いことがみてとれます。

「結婚意欲がない人」は学生時代に将来のライフイベントについて考える機会がない割合が高い

さらに、「結婚意欲がない人」と「それ以外の人」の学生時代の経験について聴取しました。

【結婚意欲別にみた学生時代（13歳～22歳ごろ）の経験・体験（20～30代未婚者／それぞれ単一回答）】

<自分の将来の職業について考えたことがない割合>

- ・結婚意欲がない人 25.7% / それ以外の人 18.0%（ギャップ 7.7pt）

<自分の将来の結婚について考えたことがない割合>

- ・結婚意欲がない人 56.1% / それ以外の人 29.3%（ギャップ 26.9pt）

<自分の将来の結婚生活について考えたことがない割合>

- ・結婚意欲がない人 62.3% / それ以外の人 32.1%（ギャップ 30.1pt）

<自分の将来の子ども（出産・育児）について考えたことがない割合>

- ・結婚意欲がない人 61.2% / それ以外の人 33.4%（ギャップ 27.8pt）

結婚意欲別に学生時代の経験・体験についてみると、結婚意欲がない人は、それ以外の人と比較し、将来の職業や結婚、結婚生活、子どもなど、将来のライフイベントについて考えたことがない割合が高いことが分かりました。結婚の意欲は学生時代の自分の将来について想像する機会の有無と関係しているようです。加えていうと、将来ライフイベントについて考えたことがない割合は、女性よりも男性が高いことが分かっています。男性の結婚意欲がない割合が女性より高いのは、将来について考える機会の少なさに関係している可能性があります。

高校から大学など将来の進路を考えるタイミングで、就職先だけでなく、その先の未来にある結婚や将来のライフスタイルを想像する機会を持つことで自分の結婚意欲が決まっていくのかもしれない。

◆出版・印刷物ヘデータを転載する際には、「恋愛・結婚調査2017（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

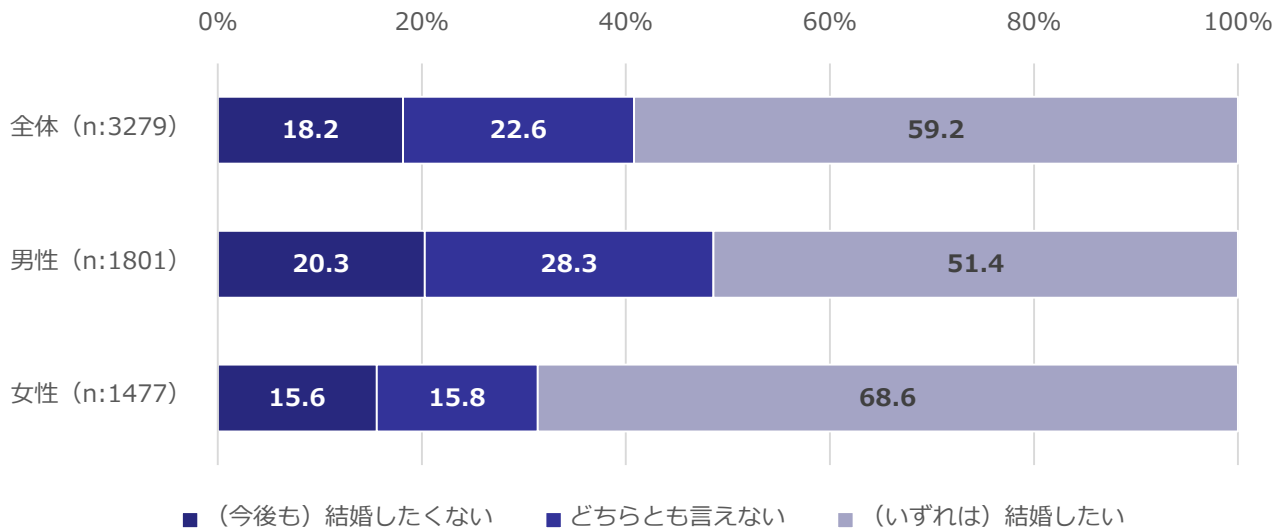
ブライダル総研

本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

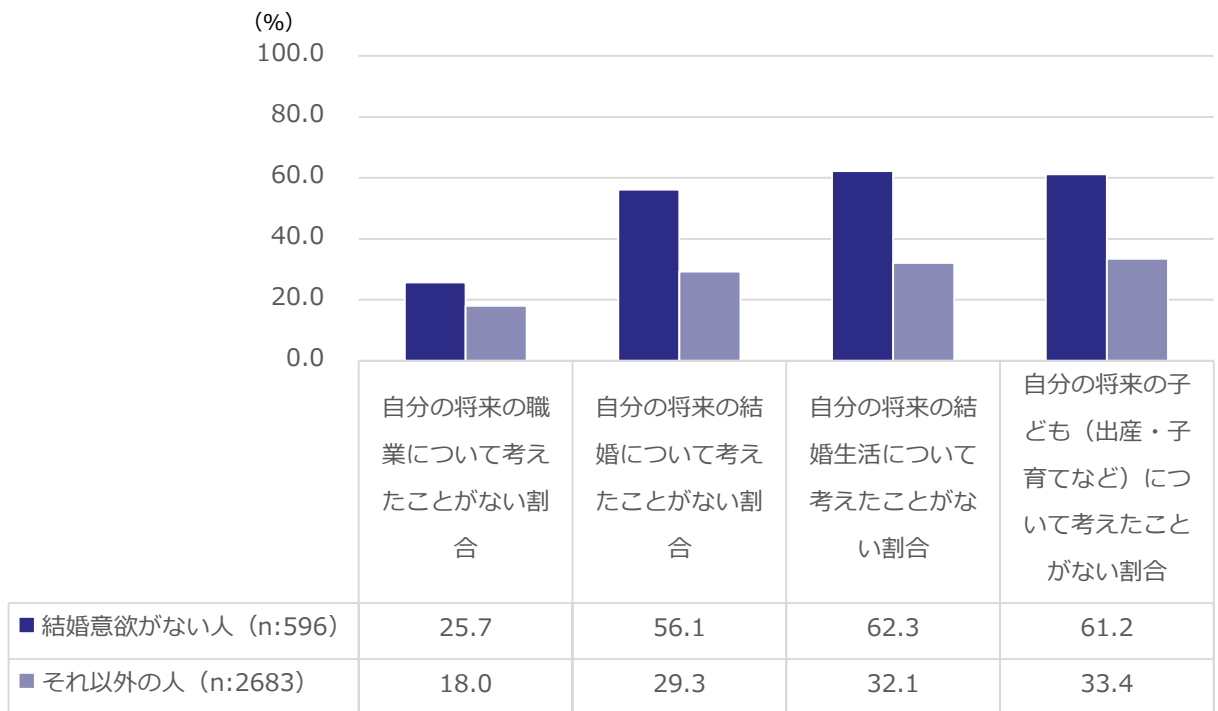
「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

【将来の結婚意欲（20～30代未婚者／単一回答）】



【結婚意欲別にみた学生時代（13歳～22歳ごろ）の経験・体験（20～30代未婚者／それぞれ単一回答）】



【調査概要】

調査方法：インターネットによるアンケート調査
 調査期間：2017年9月22日（金）～2017年9月24日（日）
 調査対象：全国の20～49歳の男女（結婚経験のない独身者のみ）
 サンプル数：4,200人（未婚者の性・年代別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）
 ※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より